

基礎断熱用モルタル〈カーボンファイバー配合〉

ファイラーボンドKISO

《基礎》

基礎断熱工法は、スタイロフォームなどの発泡ポリスチレンで基礎の外周部を断熱し、床下には断熱しないで、床下を居住空間に取り込んで温度を保つので、床下環境が改善され木材の腐朽に対して安全とされています。ファイラーボンドKISO〈基礎〉は、基礎断熱工法の下地である発泡ポリスチレンに対するくい付きがよく、またクラックが入り難いように開発されたポリマーセメントモルタルです。施工の際、ひび割れ防止用ネット（耐アルカリネット）を伏せ込むことにより、更にクラックが入り難く、強固なモルタル面が得られます。

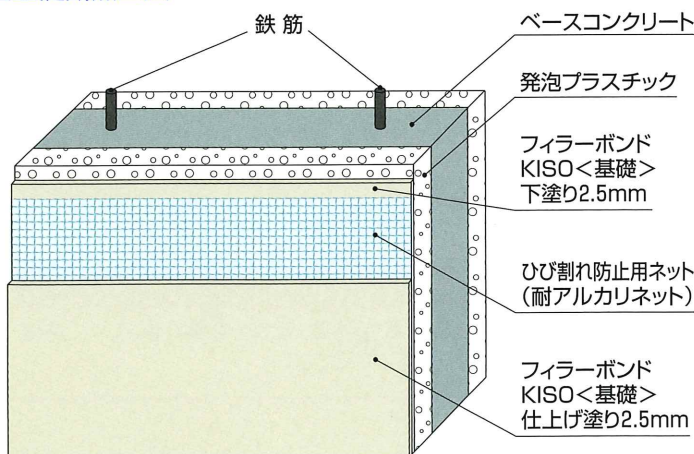
用途

基礎断熱工法（発泡プラスチック）に対する下地作りに。

特長

- ①コテ伸び、コテ滑りが良く、作業性に優れる。
- ②特種繊維（カーボンファイバー他）の効果で、クラックが入り難い。
- ③耐久性に優れた粉末アクリル樹脂配合で接着性に優れる。
- ④透水性が少なく、耐凍害性に優れる。
- ⑤一材型で使い易く、寒冷地でも安心在庫。

■基礎断熱工法



練り方

- ①粉体1袋（25kg）に対して標準加水量の9割程度の水（約5.9ℓ）を入れ、全体が均一になるよう隅々までよく練ってください。
- ②5～10分間程度練り置きした後、よく練り返してください。
- ③粘度が高い場合は、残りの水を加え、再度よく練り合わせ、塗付作業に適した粘度に調整してください。

標準仕様

正味質量	25kg
標準加水量	約6.5ℓ
塗り厚	5mm
標準所要量	3㎡/袋
可使用時間	1.5時間

主成分

セメント、珪砂、カーボンファイバー、アクリル系粉末樹脂など



性能試験結果

建築用下地調整塗材 JIS A 6916 (CM-2)

試験項目	試験結果	規格
軟度変化 (%)	4.3	-20~20
耐ひび割れ性	ひび割れ無し	ひび割れが無いこと
耐衝撃性	ひび割れ及び剥がれ無し	ひび割れ及び剥がれが無いこと
曲げ強さ (N/mm ²)	5.5	5.0以上
圧縮強さ (N/mm ²)	16.3	10.0以上
付着強さ (N/mm ²) (標準養生)	1.3	1.0以上
(低温養生)	0.9	0.7以上
吸水量 (g)	1.5	2以下
透水量 (g)	0.1	0.5以下
長さ変化 (%)	0.13	0.15以下
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性	割れ、膨れ及び剥がれ無し 1.2	割れ、膨れ及び剥がれが無く、 付着強さが1.0以上であること
仕上材が陶磁器質タイルの場合の耐久性	1.0	付着強さが0.6以上であること

施工方法

① 下地の補修、清掃

発泡プラスチック表面の埃や汚れを清掃してください。
発泡プラスチックに欠損がある場合は、予めフィラーボンド
KISO (基礎) で補修しておいてください。

② ひび割れ防止用ネットの準備

基礎の高さに合わせて、予めひび割れ防止用ネット (耐アルカリネット) を切断しておいてください。

③ フィラーボンドKISO (基礎) の混練り

粉体1袋 (25kg) に対して標準加水量の9割程度の水 (約5.9ℓ) を入れ、全体が均一になるように隅々までよく練ってください。
5~10分間程度練り置きした後、よく練り返してください。
粘度が高い場合は、残りの水を加え、再度よく練り合わせ、
塗付作業に適した粘度に調整してください。

④ フィラーボンドKISO (基礎) の下塗り

発泡プラスチックとの密着を良くするため、十分にコテ圧をかけながら2~3mm厚でフィラーボンドKISO (基礎) を塗り付け、追いかけて平坦にならしてください。

⑤ ひび割れ防止用ネットの貼り付け

追いかけてひび割れ防止用ネット (耐アルカリネット) を貼付け、コテで押さえ込んでください。ひび割れ防止用ネット (耐アルカリネット) の隙間ができないように、端部は10cm程度重ねて貼付けてください。木ゴテを使用すると、アマが浮き易く、埋め込みがし易くなります。

⑥ フィラーボンドKISO (基礎) 仕上げ塗り

30分~1時間以内に2~3mm厚でフィラーボンドKISO (基礎) を塗り重ねてください。下塗り後、時間を置き過ぎると、塗り重ねた時に膨れが出易くなります。

⑦ 刷毛引き

仕上げ塗りした後、30分以内に空刷毛を通してください。

■ 施工上の注意

- 他の混ぜ物はしないでください。
- 水は水道水などの清水をご使用ください。
夏場に溜め置きして温度が高くなった水を使用すると、著しく硬化が早くなることがあります。
- 施工中、施工後に降雨が予想される場合は、施工を見合わせるか、十分に雨養生をしてください。
- 道具類はなるべく早めに水洗いしてください。

■ 使用上の注意

- 取り扱いには換気の良い場所で行ってください。
- 取り扱い時は、保護手袋、保護眼鏡、防塵マスクなど、適切な保護具を着用してください。
- 取り扱い後は、うがいや手洗いを行ってください。

■ 応急処置

- **目に入った場合**
直ちに清水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
- **皮膚に付着した場合**
直ちに清水でよく洗い流し、異常のある場合は医師の診断を受けてください。
- **吸入した場合**
直ちに新鮮な空気のある場所に移し、うがいをさせ、医師の診断を受けてください。
- **誤って飲み込んだ場合**
大量の水を飲ませて吐き出させ、直ちに医師の診断を受けてください。

■ 保管の注意

雨露や湿気を避け、屋内でパレットを敷くなどして、床面より浮かして保管してください。